



研修医日記

作成者：須郷 由希（2年次）

現在、初期研修最後の1か月で耳鼻咽喉科をローテートしております（先月までは外科をローテートしておりました）。なぜ今？と思われる方もいるでしょうが、同期で耳鼻科を回る人が4人いたので、スケジュールを組んだ結果今の時期になってしまいました。大人の事情です。できればもう少し早くローテートして、基本的診察を学んで救急外来に生かしていきたくかったです。私が麻酔科志望であることを上級医の先生はご存知なので、基本的診察の他にも喉頭ファイバーを積極的にやらせていただいています。1年目の時に耳鼻科の先生が救急外来で喉頭ファイバーを用いて気管挿管をしているのを見ているため、ゆくゆくはそういった使い方でもできるようになりたいです。

早いもので初期研修の2年間が終わろうとしています。1年目の初期は薬の名前と作用を覚えたり、慣れない病棟業務や救急業務を行ったりと新しいことだらけの毎日でした。最近はどうでもないのですが、1年目の頃は待機のとくに急患を担当することが多く、ある意味「ついてる」状態でした。あまりにも急患が続いたときに上級医の先生に「他の人よりどうも急患や重症の患者さんを担当する機会が多くて心が折れそう」と少し弱音を吐いたことがあるのですが、「チャンスがある今のうちにたくさん経験しておきなさい」とアドバイスをいただきました。今後、仕事が忙しくなった時にその時の言葉を思い出して頑張っていこうと思っています。

今後は、弘前大学の麻酔科に入る予定です。もしかしたらむつへお手伝いに行くこともあるかもしれません。その際はよろしくお願いします。むつ研修医同期で木下先生も一緒に麻酔科に入ります。頼りがいがあるので大変心強いです。

あっという間でしたが2年間ありがとうございました。上級医の先生方、後輩たち、スタッフのみなさんには感謝してもしきれません。今後なにかのご縁でむつへ帰ってきた際は今よりもパワーアップしているように、これからも頑張ろうと思います。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。